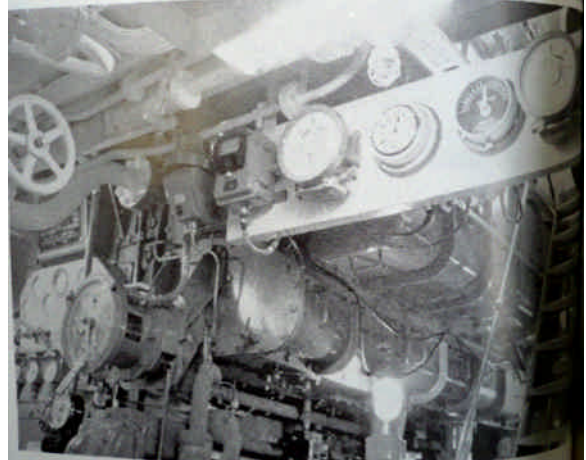


## 昭和 35 - 36 年の WHEELHOUSE, CONTROL ROOM

1) W35 - 01 「くれない丸」 WHEEL HOUSE



2) W35 - 02 「くれない丸」 主機操縦場所

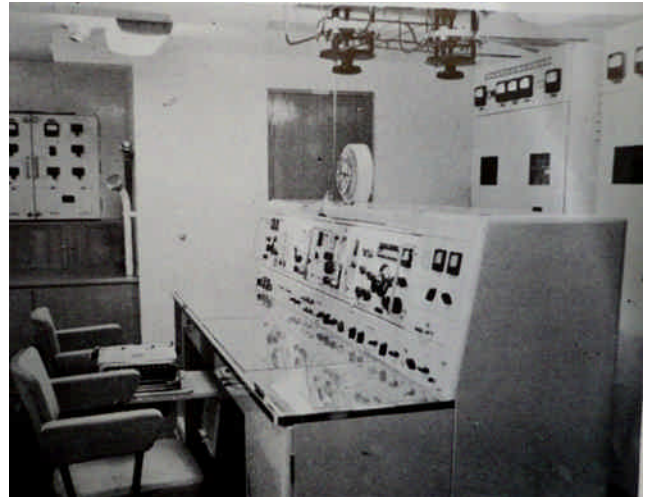


- ・ 1) 2) 「船の科学」 1960-4 VOL.13 NO.4 より
- ・ 客船「くれない丸」 総トン数 : 2,928.39T
- ・ 船主 : 関西汽船(株) ・ 建造 : 新三菱重工業(株) 神戸造船所 昭和 35 年 2 月 27 日竣工
- ・ WHEEL HOUSE 手前はレーダ指示機、その奥は磁気コンパス、さらに奥にエンテレが見える。

3) W35 - 03 「鶴邦丸」 WHEEL HOUSE



4) W35 - 04 「鶴邦丸」 RADIO ROOM

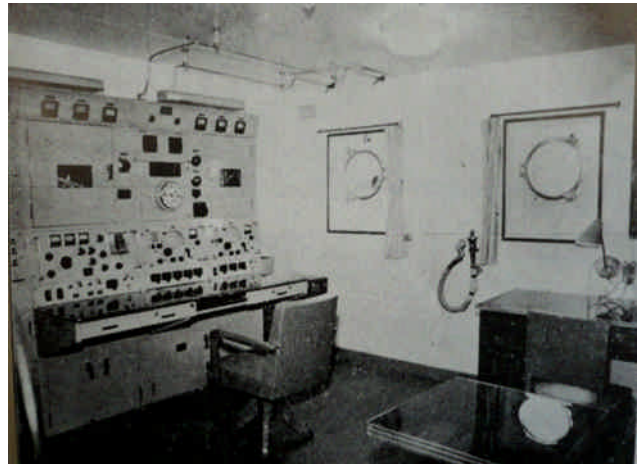


- ・ 3) 4) 「船の科学」 1960-5 VOL.13 NO.5 より
- ・ ディーゼル・タンカー「鶴邦丸」 DW : 47,252 Kt
- ・ 船主 : 飯野海運(株) ・ 建造 : 飯野重工(株) 舞鶴造船所 昭和 35 年 3 月 10 日 引渡し
- ・ WHEEL HOUSE 手前から左舷に エンテレ、操縦スタンド、レーダ指示機(2台)
- ・ RADIO ROOM 完全にコンソール化されていて、すっきりしている。受信卓の後ろは送信機、天井は送信アンテナの切替器、左奥に見えるのは 電源部(充放電盤を含む)

5) W35 - 05 輸出船 WHEELHOUSE

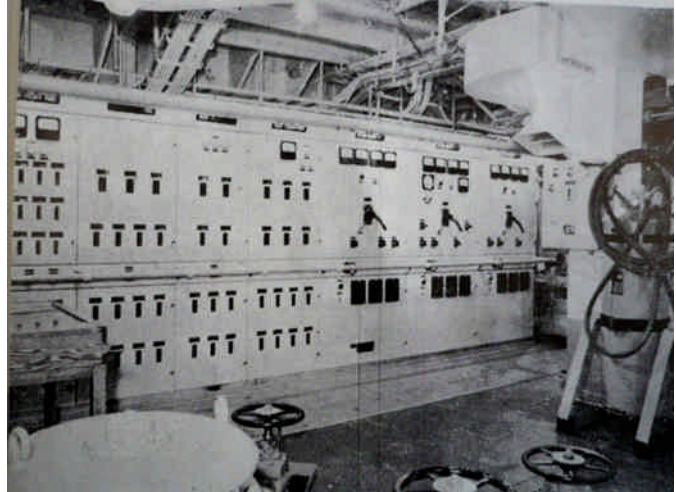


6) W35 - 06 輸出船 RADIO ROOM

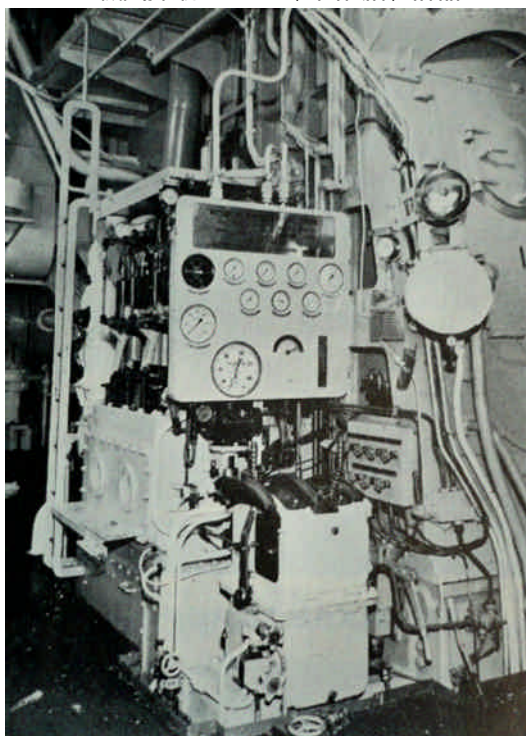


- ・ 5) 6) 7) 「船の科学」1960-8 VOL.13 NO.8 より
- ・ 輸出貨物船「PHILIPPINE PRESIDENT QUEZON」
- DW : 12,195 Lt
- ・ 船主 : National Development Co.,
- ・ 建造 : 浦賀船渠(株) 浦賀造船所  
  昭和 35 年 7 月 6 日 竣工
- ・ WHEEL HOUSE の中央に見えるのは磁気コンパス。
- ・ RADIO ROOM も ENG. ROOM の配電盤もすっきりしている。

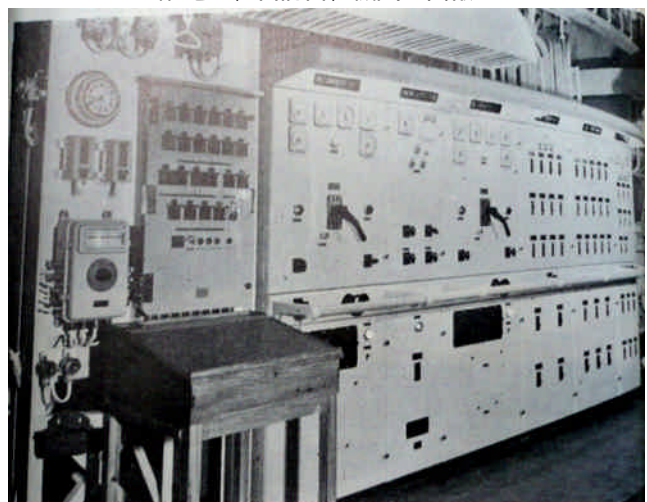
7) W35 - 07 輸出船 ENG.ROOM MSB



8) W35 - 08 「さんたるしあ丸」  
主機関操縦ハンドル、回転計、計器盤



9) W35 - 09 「さんたるしあ丸」  
配電盤、日誌台、機関室警報



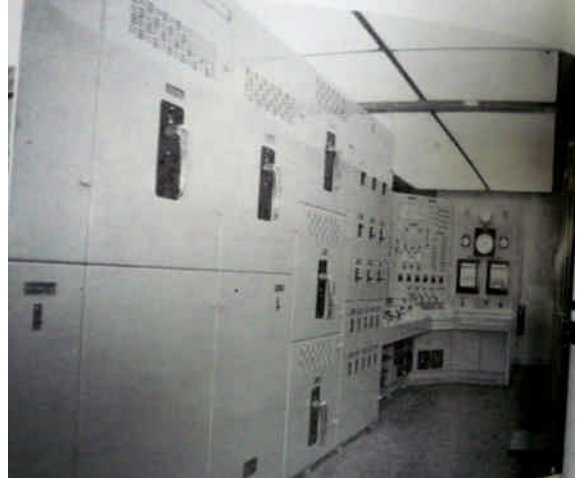
- ・ 8) 9) は 「船の科学」1961-1 VOL.14 NO.1
- ・ 鉄鉱石専用船「さんたるしあ丸」 DW : 35,000 T
- ・ 船主 : 三菱グループ(三菱鉱業、三菱海運、三菱商事  
  東京海上、三菱造船)と八幡製鉄
- ・ 建造 : 三菱造船(株) 広島造船所 昭和 35 年引渡し



10) W36-01 「讃岐丸」ポンプ操縦室  
(トリム、ヒール調整)



11) W36-02 「讃岐丸」総括制御室



- ・10), 11)は「船の科学」1961-7 VOL.14 NO.7 より
- ・鉄道連絡船(宇高)「讃岐丸」 載荷重量 : 897T
- ・建造 : 新三菱重工業(株)神戸造船所 昭和36年3月25日 竣工
- ・ポンプ操縦室を設けたり、総括制御室を設けるなど 新しき試みがなされている。

12) W36-03 「OLYMPUS」  
WHEEL HOUSE



13) W36-04 「OLYMPUS」  
主機関 操縦場所

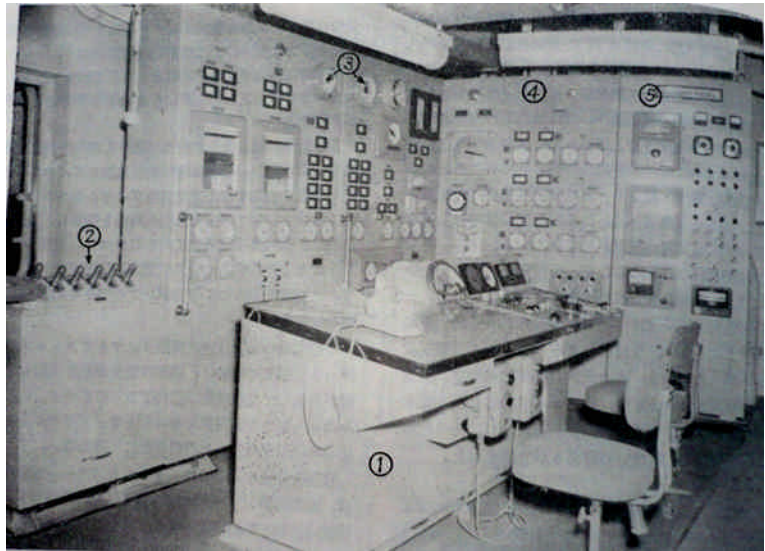


- ・12) \ 13)は「船の科学」1961-12 VOL.14 NO.12 より
- ・ディーゼル・タンカー「OLYMPUS」 DW : 75,145 LT ・船主 : オリジナル汽船(リベリア)
- ・建造 : 三菱日本重工(株)横浜造船所 昭和36年9月30日 竣工

14) W36-05 「金華山丸」  
W/H主機操縦台



15) W36-06 「金華山丸」  
ENG.CONTROL ROOM コンソール



- ・ 14) 15) は 「船の科学」 1962-1 VOL.15 NO.1 より
- ・ 第16次貨物船 「金華山丸」 DW : 9,800 Kt ・ 船主 : 三井船舶 (株)
- ・ 建造 : 三井造船 (株) 玉野造船所 昭和36年11月27日 竣工
- ・ 「本船は本邦最初の機関部遠隔制御および自動制御装置を採用した大形貨物船である」と記されている。
- ・ 14) は WHEEL HOUSE 主機遠隔操縦台である。
- ・ 15) は 制御室計器盤および主機遠隔操縦台で、写真の中の番号の説明は下記の通り。  
主機遠隔操縦台      温度調整弁の遠隔制御用ハンドル      主機運転状況監視用計器盤  
発電機およびボイラー関係計器盤      油清浄機の自動制御盤および冷蔵艙の自動記録温度計等

#### [メモ]

- 1) この時期には、操舵室も無線室も配置はほぼ固まってきたのが窺える。
- 2) ポンプ操縦室や総括制御室などを設ける動きが出てきた。
- 3) 主機関の操縦場所に計器類が一つのパネルにまとめられて表示されるようになってきた。